令和６年度　保土ケ谷区社会福祉協議会　事業報告書

Ⅰ　「共助の層」を厚くする取組

（１）身近な地域での「つながり・支え合い活動」の推進

①総合相談

地域の方の多種多様な相談を関係機関へつなぐ等により、解決を図った。

②地域食堂実施団体への支援

こども食堂やみんなの食堂を実施している団体の活動を支援した。

・みんなｄｅ食堂懇談会の開催

実施日：令和７年２月２２日(木)

参加者：１７名（10 団体）

・保土ケ谷区内の食堂実施場所のマップと実施内容を更新

・情報が一斉につたえられるように LINE グループを活用して情報発信

・食堂を新たに立ち上げる団体への支援

・区内企業等の協力により提供された食材や物品の配分

（２）生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生きがいや役割を持って自分らしく暮らし続けられるよう、様々な団体や機関等と連携しながら取り組みました。

① 区域のアセスメントおよび課題解決に向けた取組

・生活支援体制整備事務局会議（12 回）

・横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービス B)活動団体への区・地域ケアプラザと連携支援

・民間企業との見守り連携について、企業・地域・関係機関の意見交換（区と連携）

・買い物困難エリアにおける移動販売の実施および充実に向けた企業・地域・関係機関との協働の取組

・事業啓発に向けた広報啓発の取組

② ２層生活支援コーディネーターとの連携および支援

・保土ケ谷区生活支援コーディネーター連絡会の開催

開催回数：全 11 回（別掲）

主な内容：保土ケ谷区アクションプラン振返り、事業推進に向けた検討、情報交換

・第２層生活支援コーディネーターヒアリング、個別相談対応

③ 市・区域の各種会議への出席

・市生活支援体制整備推進会議（年 10 回）

・第１層生活支援コーディネーター連絡会・情報交換会（年９回）

・保土ケ谷区地域包括支援センター全体会、多職種連携代表者会、区レベル地域ケア会議　他

（3）地域ケアプラザとの連携

① 地域ケアプラザ地域活動・交流コーディネーター連絡会

- 毎月第2水曜日（計 12 回）
- 情報交換、地域交流研究部会の連絡調整、各地域ケアプラザの地域交流事業の報告
- コーディネーター連絡会事業（区民まつり・障害児余暇支援事業・自主研修）の検討・調整

② 地域活動・交流コーディネーターとの取組

- 障害児余暇支援事業「ほっとフレンズ」（7月 28 日（日）・3月 23 日（日））
- 区民まつり（10 月 19 日（土））
- 各種研修等

  ハラスメント研修、福祉避難所研修、港南区地域交流コーディネーター連絡会との交流会
- 会議等

  保土ケ谷区地域自立支援協議会への参加（子ども部会）、保土ケ谷区移動情報センター推進会議

  子育て支援連絡会、地域交流研究会全体会

③ 地域包括支援センターとの連携

- 各地域ケアプラザ地域包括支援センターミーティングへの出席
- 個別ケース地域ケア会議、地域包括支援センターエリア地域ケア会議への出席

（4）地区社協活動の推進支援

地区社協の活動継続に向けた支援を行った。

① 地区社協運営・事業支援

各地区社協定例会議等への出席や地区状況確認のためのヒアリング等を通して、社協の組織運営や活動の支援を行った。

② 地区社協会長･事務局長合同会議（地区社協分科会）および研修会の開催

（ア）地区社協会長･事務局長合同会議： 年４回開催、地区社協間の情報交換

（イ）地区社協会長会議：年１回開催、ほっとなまちづくりについて　他

（ウ）広報紙の作り方講座

実施日：7月 31 日（水）

内　容：活動が一目で分かる広報紙の作り方と広報紙担当者の交流

講　師：高橋　誠一氏（株式会社オープン代表）

（エ）地区社協「会計研修」

実施日：1月 22 日（水）・1月 24 日（金）　※同内容を２回

内　容：地区社協の会計について、社協助成金等の活用について

（オ）地区社協役員等研修～第５期地区別計画策定に向けて～

実施日：3月6日（木）　場所：保土ケ谷公会堂第１号会議室

内　容：第５期ほっとなまちづくり策定方法や留意点、大切にすべき視点について

講　師：西尾　敦史氏（愛知東邦大学　人間健康学部教授）

③ 地区社会福祉協議会活動への助成金・補助金の交付

地区社会福祉協議会活動の安定した財源確保のために助成金を交付した。

（ア）地区社協活動運営費（市社協補助金を活用）（助成総額：1,100,000 円）

（イ）地区社協助成金（助成総額：5,060,000 円）

（ウ）世帯賛助会費の地区社協への還元金（詳細は P.26(別表１)）

寄せられた賛助会費の約 60%を各地区社協に還元（還元金総額：6,888,000 円）

（5）保土ケ谷区地域福祉保健計画（ほっとなまちづくり）の推進

① 地区別計画の推進支援

区役所、地域ケアプラザと連携し、地区支援チームとして地区支援を行った。

・各地区での地区別計画推進支援（実行委員会への参加等）

・各地区支援チームへの参加

・区役所所管と共同事務局による推進

支援チームリーダー会議　4月 25 日（木）、10 月 29 日（火）、1 月 29 日（水）

新任支援チーム職員説明会　5月9日（木）・5月 14 日（火）

支援チーム研修「チームになる」ワークショップ～互いを知り！認め合い！発揮する！！！～

実施日：6月 27 日（木）及び7月1日（月）　※計３回　参加者 132 名

講義・演習：渡辺　裕一氏（武蔵野大学　人間科学部教授）

② ほっとなまちづくりフォーラム　第 41 回保土ケ谷区社会福祉大会

実施日・場所：12 月7日（土）　保土ケ谷公会堂　参加者：390 名

③こどもワークショップ「ねちょぱな」の開催

第５期ほっとなまちづくりにこどもの声や意見を反映させるため、区内の小学３～６年生を対象に開催した。

実施日：7月 30 日（火）、8月1日（木）・6日（火）　　参加者：14 名

内　容：こどもの権利についてのお話、ねちょぱなカードを使った意見交換

講　師：長谷川　俊雄　氏（白梅学園大学名誉教授）

④ 第４期ほっとなまちづくり推進及び第５期ほっとなまちづくり策定に向けて

区役所、地域ケアプラザとともに共同事務局として、計画の推進及び策定に向けて取り組んだ。

・区役所、地域ケアプラザと定例会議等（月１回）

・ほっとなまちづくり推進会議

６月１３日（木）　令和５年度推進報告、第５期計画「みんなで目指すまちの姿」意見交換

９月１２日（木）　こどもワークショップ「ねちょぱな」、団体ヒアリング報告、意見交換

１２月２０日（金）第５期計画「みんなで目指すまちの姿」報告、意見交換

２月４日（火）　　第５期計画骨子、冊子構成案、掲載コラム意見交換

・第５期計画策定に向けて団体ヒアリングの実施（14 団体）

ヒアリング団体：区障害者地域自立支援協議会、区主任児童委員連絡会、区 PTA 連絡協議会、県立商工高等学校、NPO 法人　居場所そら、みんな de 食堂懇談会、えんぴつルーム、横浜型児童家庭支援センターゆめのね、よこはま西部ユースプラザ、ほどがや国際交流ラウンジ、
部会・分科会（福祉施設、当事者団体、地域施設、ボランティア・市民活動）

（6）保土ケ谷区ふれあい助成金の配分

地域福祉の推進を図るため、市社協基金（よこはまあいあい基金、障害者年記念基金）および善意銀行、保土ケ谷区社協財源（共同募金配分金、福祉基金など）を財源に保土ケ谷区ふれあい助成金事業を実施した。

ふれあい助成金配分審査会実施日：６月 11 日（火）助成決定内容　※詳細別掲（P28：別表 3）

区分			団体数	金額（円）
Ⅰ 要援護者支援区分	1）集いの場活動	A	4 件	1,095,000
		B	3 件	515,000
		C	1 件	99,000
		D	23 件	1,732,000
		E	44 件	3,057,000
		F	13 件	630,000
	2）家事・生活支援活動	A	2 件	650,000
		B	0 件	0
		C	1 件	95,000
		D	1 件	80,000
		E	2 件	100,000
	3）配食活動	A	0 件	0
		B	0 件	0
		C	0 件	0
		D	1 件	90,000
		E	4 件	320,000
		F	0 件	0
	4）送迎活動	A	0 件	0
		B	1 件	300,000
		C	3 件	360,000
Ⅱ 障害児者支援区分	1）障害児者支援・当事者活動	A	0 件	0
		B	0 件	0
		C	1 件	120,000
		D	1 件	80,000
		E	0 件	0
	2）宿泊・日帰りハイク事業	A	3件	150,000
	3）視覚・聴覚障害者支援	A	5 件	250,000
Ⅲ　福祉のまちづくり区分		A	20 件	765,000

	B	2件	60,000
Ⅳ　健康増進区分	A	2件	20,000
新規事業立ち上げ資金※		3件	90,000
合計		140件	10,658,000

Ⅱ　幅広い地域活動の人材の確保・場づくり

（1）区ボランティアセンターの運営

① ボランティア相談の実施

ボランティアをしたい人・してほしい人の相談を受け、登録および紹介を行った。

【ボランティア登録者】グループ：52 団体（うち新規登録：11 団体）

個　　人：270 名（うち新規登録：58 名）

【ボランティア依頼・紹介人数・調整数】

	ボランティア区分	児童	障害児・者	高齢	外国人	限定せず	その他	合計
年間合計	依頼件数（件）	26	20	80	0	4	7	137
	紹介人数（人）	65	33	92	0	19	14	223
	調整数（件）	151	126	346	0	26	39	688

【ボランティア依頼内訳】

	調整結果	区分						合計
		児童	障害児・者	高齢	外国人	限定せず	その他	
ボランティア依頼	紹介件数	18	5	57	0	3	6	89
	調整中	4	8	7	0	0	0	19
	調整つかず	3	4	4	0	0	0	11
	取り下げ	0	2	9	0	1	0	12
	情報提供	1	1	3	0	0	1	6
	内訳計	26	20	85	0	4	7	137

（2）ボランティア講座等の開催

① 夏の学生向けボランティアセミナー

ボランティア活動に不安を感じている中高生が夏休み中にボランティア活動を始めるきっかけ作りのために実施。

実施日：８月３日（土）

参加者：６名

②音訳ボランティア入門講座

視覚障がい者のために本や雑誌等を朗読・録音した音声を CD にして提供するボランティアを養成するために実施。

実施日：11 月 13 日（水）、11 月 20 日（水）、11 月 27 日（水）

参加者：６名

③認知症予防のための音読ボランティア養成講座

地域に音読を広めて認知症予防を促進する「音読ボランティア」を養成するために実施。

実施日：１月 18 日（土）、１月 25 日（土）、２月１日（土）

参加者：15 名

（3）企業や社会福祉法人の地域貢献活動の充実

① プロレスの福祉招待

地域貢献の一環として、プロレス団体による区内障がい者施設および児童福祉施設・団体向けの招待を調整した。また、当該団体より寄付金を受領。寄付金の詳細は別表２参照。

・実施日：８月 11 日（日/祝）
・件　数：11 組（区内の障がい児・者施設および福祉関係団体を介してコーディネート）
・寄付者：大日本プロレス/湘南プロレス

② 区内企業等との連携

日本ウインナー㈱、㈱ジャンボリア、日本ケンタッキー・フライド・チキン㈱、㈱HT wells から食材や食品の寄贈を受け、地域食堂（こども食堂等）に配分した。

また、公共施設や企業、高齢者施設、団体から防災備蓄物品のうち消費期限が近い食品等の寄付を受け、生活に困窮した世帯に食品を提供した。

（4）地域における福祉教育・福祉啓発の推進

① 福祉教育の推進

学校からの福祉教育の取組依頼に対して、情報提供や講師調整等の支援を実施。依頼件数は前年度よりも増加し、多くの団体の協力により多様な内容での実施につながった。

内　容　：障害当事者や親の会による障害理解に関する講演や車椅子体験など。

実施回数：小学校	（26 件）29 日	52 コマ	延べ参加者数	2,967 名
中学校	（１校） １日	２コマ	延べ参加者数	25 名
高等学校	（３校） ３日	３コマ	延べ参加者数	340 名

②「福祉教育ニュース」の発行

福祉教育の基本的な考え方、 福祉教育体験プログラムの実践事例、実施までの流れ、令和６年度学校等における福祉教育実施一覧を紹介した。

時　期：３月発行
部　数：1,500 部（区内小中学校・関係機関等へ配布）

（5）福祉保健活動拠点の運営

ボランティアグループ、障害者団体等、地域における自主的な福祉保健活動を行っている団体に対して、部屋や印刷機等備品貸し出しを行い、活動の場を提供した。

また、利用団体の要望も踏まえ、テーブルやいすの交換、拠点利用の申込方法を従来の先着順から抽選制に変更し、すべての団体が同じ条件で利用の申込みができるように改善した。

① 利用状況

登録団体：103 団体（令和７年３月末）
利用件数：3,128 件

諸室	年間合計（件）
団体交流室	896
多目的研修室　他	2,232

② 利用調整会議

実施日：10 月 17 日（木）、10 月 22 日（火）、10 月 24 日（木） ※いずれも同一内容
参加団体数：延べ 44 団体
内　容：予約受付方法の変更、情報交換・懇談

Ⅲ　支援を必要とする人への自立・生活支援

（1）移動情報センター事業の実施

障害のある方のための外出相談窓口として、相談の受付、ヘルパー事業所等の情報収集、ガイドボランティアの育成を行った。

① 相談窓口での相談調整

障害のある方本人や家族からの相談を受け、外出の目的や行き先などニーズにあわせた相談や情報提供を行った。

相談件数：187 件

（身体 34、知的 112、精神 37、重複 1、その他 3）

② ガイドボランティア障害理解講座・茶話会の実施

ガイドボランティア登録者を対象に障害理解講座を開催。普段 1 人で活動するガイドボランティアが他のガイドボランティアと交流することを目的に茶話会を年 2 回実施した。

《第 1 回》8 月 28 日（水）　参加者 9 名

茶話会／障害理解講座「障がいのある方が地域で暮らすために～ボランティアがいてくれたから～」

講　師：山口　博之氏（夢２１福祉会グループホーム 管理者）

《第 2 回》2月5日（水）　参加者6名

茶話会

③ 利用者・家族とガイドボランティアの交流

18 歳未満の利用者・家族とガイドボランティアの交流を目的にほっとフレンズ 2024 春「ボッチャをたのしもう！」（障害児余暇支援）に参加した。

ほっとフレンズ 2024 春「ボッチャをたのしもう」

実施日：3 月 23 日（日）　　参加者：11 名（ガイドボランティア以外含む）

場　所：横浜市川島地域ケアプラザ　多目的ホール

ボッチャ講師：一般社団法人ヨコハマ・インクル・ボッチャ・ラボ　岩村　宇博氏

④ 推進会議の開催

移動情報センター業務の推進について、関係機関を交えた推進会議を定期的に開催

《第 1 回》 5月 29 日（水）　出席者：21 名

令和５年度事業報告・令和６年度事業計画、ガイドボランティアの活動紹介

《第 2 回》12 月 12 日（木）　出席者：8名

保土ケ谷支援学校を訪問して下校時の様子や校内の見学と情報共有、意見交換

《第 3 回》3月5日（水）　出席者：21 名

令和６年度経過報告、第２回推進会議報告、令和７年度事業計画、広報紙の紹介

⑤ 事業所との連携

保土ケ谷区を担当する事業所を訪問し、情報共有、意見交換を実施。（訪問数：５事業所）

（2）あんしんセンター（権利擁護事業）の運営

区内の高齢者・障害者を対象に、権利擁護に関わる相談に対応。福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づいて提供した。

・相談件数：55 件

対象者種別	今年度件数	参考（前年度）
知的障害者	5	3
精神障害者	12	7
身体障害者	3	1
高齢・認知症	6	1
高齢・その他(認知症以外)	28	39
その他	1	2
合計	55	53

・契約件数（令和７年3月末時点）※新規契約者数：８名　　契約終了者数：14 名

サービス内容	件数
福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス契約 (うち、財産関係書類等預かりサービス契約)	57 (8)

①出張説明

関係機関・団体からの依頼等により、権利擁護事業について説明会を行った。

実施日	主　催	対　象	実施場所
７月 12 日（金）	常盤台地区民児協	民生委員・児童委員	常盤台ケアプラザ
９月26 日（木）	区内地域包括支援センター主任ケアマネジャー	新任・就労予定ケアマネジャー	星川ケアプラザ
11 月 14 日（木）	上菅田地域ケアプラザ主任ケアマネジャー	ケアマネジャー	保土ケ谷区社協

②地域包括支援センター連絡会（社会福祉士分科会）

地域包括支援センター連絡会（社会福祉士分科会）に毎月参加し、権利擁護事業に関する情報交換および事例検討、成年後見サポートネット等各種研修会開催のための打ち合わせを行った。

（3）市民後見人養成・活動支援事業

保土ケ谷区、西区、南区の３区で構成されたブロックの市民後見人バンク登録者を対象に、市民後見サポートネットとして、市民後見人の支援を目的とした事例検討を実施した。

《西区》　　７月18 日（木）　場　所：西区福祉保健活動拠点
《保土ケ谷区》11 月 15 日（金）　場　所：保土ケ谷区福祉保健活動拠点
《南区》　　２月 10 日（月）　場　所：南区役所
参加者：市民後見人バンク登録者、専門職講師、地域包括支援センター、
区高齢・障害支援課、基幹相談支援センター、よこはま成年後見推進センター　等

（4）成年後見制度利用促進に向けた取組

各支援機関のネットワークづくりおよび専門職のスキルアップを目的とした成年後見サポートネット全体会・専門職会議へ参加し、権利擁護が必要な困難事例や課題の検討を行った。

実施日：６月20日（木）、９月19日（木）、12月19日（木）、
３月13日（水）＜専門職会議のみ＞

参加者：専門職講師、地域包括支援センター、区高齢・障害支援課、
基幹相談支援センター、よこはま成年後見推進センター　等

（5）生活福祉資金貸付事業

① 生活福祉資金に関する相談、貸付

低所得世帯や高齢者・障害者世帯にとって必要な生活の再建や自立に向けた支援を図ることを目的として一時的な資金の貸付を行った。

※福祉資金と教育支援資金は、資金の性質上、相談件数を合算して集計しています。

（内訳）

資金の種類	相談件数	貸付件数	貸付金額(円)
福祉資金	1,245	2	189,000
教育支援資金	※	12	8,116,000
緊急小口資金	345	2	200,000
不動産担保型生活資金	67	0	0
総合支援資金	24	0	0
合計	1,681	16	8,505,000

② 関係機関との連携による支援

保土ケ谷区役所生活支援課や生活困窮者自立支援機関等関係機関と必要に応じて打合せの場を持ち、互いの制度情報や相談の傾向等の共有を行った。また、長期間にわたり滞納している借受人や貸付に至らなかった世帯へ生活再建に向けた相談を行った。

③　生活福祉資金の制度説明

（ア）制度が必要な世帯に制度情報を届けるために、地区民生委員児童委員協議会やその他関係機関へ生活福祉資金全般の制度説明を行った。

（イ）教育支援資金の制度説明

教育支援資金が必要な世帯に制度情報を届けるために、中学校長会や生徒指導専任教諭会、中学校進路説明会等で説明を行った。

（6）自立生活支援関連事業

① 生活に困窮した世帯への支援

区生活支援課、こども家庭支援課、児童相談所、地域ケアプラザの依頼に基づき、生活に困窮した世帯に対し、食料や生活雑貨を提供した。

延べ提供回数：181 回

② ささえあいフードドライブによる支援

生活に困窮した世帯に対し「ささえあいフードドライブ」として食品や生活雑貨を提供した。

《第１回》７月25日（木）～27日（土）　　申込：14 世帯

対象：区生活支援課やこども家庭支援課、児童相談所等に案内し、支援が必要な世帯に周知を依頼し申込者を選定。

《第２回》12月19日（木）　申込：７世帯

対象：生活福祉資金を借入し、長期にわたり滞納している借受人や貸付に至らなかった相談者に対して案内を行い、申込者を選定。

③ 家族のハッピープロジェクト

親子で豊かな時間を過ごし今後の生活再建のきっかけとなることを目的に、児童家庭支援センターゆめのねと協働で外食の機会づくりを実施した。

協　力：（株）ハングリータイガー　保土ケ谷本店

④ 横浜市社協と企業の連携により提供された寄付品の活用

横浜市社協と企業の連携により提供された寄付品を「ささえあいフードドライブ」等の機会に生活に困窮した世帯へ提供した。

（7）災害時のボランティア活動に向けた啓発活動

保土ケ谷区災害ボランティアネットワーク

災害に備えてボランティア団体および地域防災拠点関係者等が、平常時から交流をすることで連携の充実を図ることを目的とし、研修および訓練等を行った。（区役所と共同事務局）

【総会】

・実施日：５月 12 日（日）　場所：保土ケ谷区福祉保健活動拠点　団体交流室

・参加者：出席 17 名　委任状 50 名（団体会員・個人会員・地域防災拠点関係者等）

・内　容：令和５年度活動報告・収支決算／令和６年度活動計画・収支予算／役員改選

【運営委員会】　年 10 回

【啓発活動】

《ほどがや区民まつりへの参加》10 月 29 日（土）

内　容：パネル展示、ペット同行避難に関するグッズを通して防災・減災活動の啓発

《災害ボランティアセンターシミュレーション訓練》11 月 10 日（日）

参加者：20 名（区社協４名、運営委員８名、防災拠点５名、区役所３名）

内　容：市域全体で導入している災害情報システムを活用したボランティア受け入れ訓練

《防災講演会「いざというときの備え」の実施》２月 15 日（土）

区災害ボランティアネットワーク運営委員が講師となり、防災・減災啓発の講演会を開催した

参加者：69 名

内　容：「火災・今昔物語」

「災害関連死で死なないための具体的な方法」

「日常の備えが災害の橋渡し 」

《防災ウォークの実施》３月 16 日（日）・18 日（火）

参加者：延べ 20 名

内　容：防災資源を探す（AED、消火栓、かまどベンチ、担架ベンチ、スタンドパイプ、自治会館や消防団のマッピング等）

（8）子育て支援

保土ケ谷区地域子育て支援連絡会への参画

地域で安心して子育てができる環境づくりを推進するため、子育て支援を行っている関係機関等のネットワークを構築するとともに、子育て支援の情報の整理・共有、意識・知識の向上を図った。（区役所、保育園、保土ケ谷区地域子育て支援拠点こっころとの共同事務局）

《全体会》３月７日（金）　　参加者：104 名

①取組発表：「川島原地区における取り組み」

②講演：「父親の子育てから考える地域のつながり～一緒に楽しく、ほっとなまちづくり～」

（9）障害当事者団体等の支援

① 障がい者週間キャンペーンの実施　12 月３日（火）

障害のある人の人権について考え、障害理解の促進を目的として、キャンペーン活動を実施。

場所：星川駅・かるがも周辺、イオン天王町店、天王町駅、保土ケ谷駅

参加：121 名（区社協当事者団体部会、区社協ボランティア・市民活動団体分科会、ボランティア団体、帷子小学校（３年生・教師））

② 保土ケ谷区地域自立支援協議会への参画

障害者総合支援法に位置付けられ、地域の関係機関と連携し、情報を共有しネットワークを構築することを目的とした会議に参画。

・【全体会】【担当者会議】【事務局会議】【防災部会】【自主製品販売部会】【当事者活動支援部会】【こども余暇部会】【区精神 net 部会】に参画

③各種施設運営協議会等への参加

地域活動ホーム、地域活動支援センター、地域作業所、地域療育センター、はまっ子ふれあいスクール、区内地域ケアプラザの運営協議会等に参加して連携強化に努めた。

④保土ケ谷区障害者地域作業所連絡会への参加

保土ケ谷区障害者地域作業所連絡会（区作連）の全体会・事務局会議に出席した。全体会で第５期ほっとなまちづくり策定の進捗について説明を実施した。

⑤障害児余暇支援事業「ほっとフレンズ」の実施

区内地域ケアプラザ・関係機関と相互に協力し実施した。

	ほっとフレンズ 2024 夏	ほっとフレンズ 2025 春
実施日	７月 28 日（日）	３月２３日（日）
場　所	横浜市岩崎地域ケアプラザ	横浜市川島地域ケアプラザ
参加者	６組	５組
内　容	運動会だよ！全員集合 （パラバルーン、キャプテンリノ 他）	ボッチャを楽しもう！ （ボッチャ、ダンス鑑賞 他）
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 説明会	７月 20 日（土）	３月１日（土）
場　所	保土ケ谷区福祉保健活動拠点	横浜市川島地域ケアプラザ
参加者	６名	７名
内　容	障害のある方との 関わり方	知的障害、発達障害とは　他

（10）その他

① 小災害見舞金の交付

区内で発生した小災害（火災・風水害・地震等）の被災者に対して見舞金を交付した。

・見舞件数:８件、合計 80,000 円

（支給金額：516,000 円（日本赤十字社・共同募金会支給分も含む））

【内訳】

区分	件数	区社協分単価	見舞金額	備考
全焼(全壊)	８件	10,000 円	80,000 円	
半焼(全壊)	０件	5,000 円	０円	
合計	８件		80,000 円	

②行旅人など援護事業

区福祉保健センターを通し、行旅人などへ交通費等の援護を行った。

・援護費利用人数：１名

・援護支出金額：220 円

Ⅳ　区社協の機能・体制の強化

（１）情報の収集と発信

① 広報紙「社協ほどがや」第 52 号の発行

本会の事業紹介や地域福祉に関わる特集を通じて福祉の普及を目的として発行した。

・発行回数：１回（10 月発行）

・発行部数：80,000 部（全戸配布および関係機関等へ配布）

＜内容＞

① 特集テーマ『「地域とつながりたい！　地域でつながりたい！』」
（学校とつながる、福祉施設とつながる、多世代でつながる）

② 『保土ケ谷区社協は様々なつながりを目指しています！』
（地区社協の支援、区ボランティアセンター、移動情報センター、
ほっとなまちづくりフォーラムについて等）

②「ボラセンだより」の発行

ボランティア登録者、ボランティアセンター来館者
およびボランティア依頼者に対し情報提供を目的に発行した。

発行回数：２回（秋号 10 月・春号２月発行）

発行部数：1,500 部

③広報紙「いこう ya ほどが ya！」の発行

移動情報センターの事業紹介やガイドボランティア募集等を目的に発行した。
区内と区内の児童生徒が通う小中学校、特別支援学校のほか、地域ケアプラザ、コミュニティハウス、地区センター等に送付、配架と周知を依頼した。

また、周知啓発のため、地域へも配布した。

発行月：２月

発行部数　2,500 部

④ボランティアセンター公式 Instagram での発信

幅広い年齢層へのボランティアに関する周知啓発のために Instagram を活用し、情報発信を行った。

発信回数：６回

（2）ほっとなまちづくりフォーラム　第 41 回保土ケ谷区社会福祉大会の開催

実施日：12 月７日（土）
場　所：保土ケ谷公会堂　　参加者：390 名
共　催：区役所
内　容：【社会福祉功績者表彰式典】
自立支援活動功労６名・１団体、金品寄贈功労２名・１団体
【地区活動発表・講演】
「いきいき健康～仲間とともに楽しみながら健康づくりを続けられるまち～」
藤原　佳典氏（東京都健康長寿医療センター研究所　副所長）
権太坂境木地区「健康寿命を延ばそう！」
中央地区「ゆりかごから〇〇まで　進化するまちをみんなで作ろう」
【福祉バザー・福祉作品展】
福祉バザー出展：５団体、福祉作品展出展：５団体

（3）事務局の体制強化と人材区制の取組

研修の実施・参加、交流

職員を様々な外部研修等に派遣し、内部で伝達研修を行い、資質の向上に努めた。

（4）組織の充実（理事会・評議員会・監事監査・部会・分科会・委員会の開催）

①理事会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
6月 10 日 （月） 10 名	1.会長の選定について 2.令和５年度事業報告及び収入支出決算について 3. 評議員選任候補者の推薦について 4. 評議員選任・解任委員会の招集について 5. 評議員会の招集について 6. 処務規定の一部改正について 7. 旅費規程の一部改正について	1.原案どおり選定された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり推薦された 4.原案どおり承認された 5.原案どおり承認された 6.原案どおり承認された 7.原案どおり承認された
9月 10 日 （火） 10 名	1. 補正予算（案）について 2. 評議員選任候補者の推薦について 3. 評議員選任・解任委員会の招集について 4. 評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり推薦された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された
1月 24 日 （金） 10 名	1. 会員の入会について 2.令和７年度区社協事業方針（案）について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された
3月 17 日 （月） 9名	1. 会員の入会について 2. 令和７年度事業計画及び予算（案）について 3. 諸規程の改正について 4. 役員等賠償責任保険契約について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された

②評議員会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
６月 26 日 （水） 19 名	1.令和５年度事業報告及び収入支出決算について	1.原案どおり承認された
９月 26 日 （木） 18 名	1.補正予算(案)について	1.原案どおり承認された
３月 25 日 （火） 17 名	1. 令和７年度事業計画及び予算（案）について	1.原案どおり承認された

③監事監査

実施日 出席者数	主な議題	結　果
５月 24 日 （金） ３名	1.事業執行状況について 2.経理状況及び財産状況について	1.適正であると認められた 2.適正であると認められた

④評議員選任・解任委員会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
６月 10 日 （月） ４名	1.評議員の選任について	1.理事会での推薦のとおり選任された
９月 10 日 （木） ４名	1.評議員の選任について	1.理事会での推薦のとおり選任された

⑤当事者団体部会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
7月6日 （土） 5名	1.ほどがや区民まつりについて 2.「障害者週間」キャンペーンについて 3.第５期ほっとなまちづくり策定に向けてのヒアリングについて	1.障がい理解を啓発するため、ボッチャ体験を行うこととした。 2.目的を改めて共有し実施することを決定した。 3. 地域の課題など情報交換を行った。

⑥ボランティア・市民活動団体分科会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
7月6日（土） 12名	1.区民まつりについて 2.障がい者週間キャンペーンについて 3.第５期ほっとなまちづくり策定に向けてのヒアリングについて	1.出展内容について話し合った。 2.内容と日時等を確認した。 3. 地域の課題などについて情報交換を行った。
３月13日 （木） 13名	1. 区社協役員及び評議員候補者の推薦、各種委員等の選出について 2. 意見交換	1. 原案どおり選任された 2. 担い手を増やす方法について意見交換を行った。

⑦自治会町内会分科会（保土ケ谷区連合町内会長連絡会）

実施日 出席者数	主な議題	結　果
7月18日(木) 19名	1.区社協評議員候補者の選出について	1.原案どおり選出された

⑧福祉施設分科会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
5月22日 (水) 18名	1.区社協事業計画について 2.区社協評議員候補者の選出について 3.能登半島地震被災地状況調査の派遣報告 4.業務継続計画の策定及び関連する研修やシミュレーション訓練について 5.次期ほっとなまちづくり策定ヒアリング	1.事務局から事業計画を説明した。 2.互選により選出された。 3.分科会長から報告した。 4.各施設の状況について情報交換した。 5.第５期策定に向けて意見を伺った。
12月17日(火) 21名	1.施設の地域貢献活動について 2.第５期ほっとなまちづくり策定に向けて 3.情報交換	1.各施設の状況について情報交換した。 2.事務局から、策定スケジュールやヒアリング結果等を報告した。 3.区社協会員拡充や分科会で話し合いたいこと等意見交換した。

⑨地域福祉施設分科会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
5月21日(火) 12名	1.区社協事業計画について 2.区社協評議員候補者の選出について 3.第５期ほっとなまちづくり策定に向けてのヒアリング	1.事務局から事業計画を説明した。 2.互選により選出された。 3.第５期策定に向けて意見を伺った。

⑩地区社協分科会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
5月30日（木） 35名	1.令和６年度区社協事業計画について 2.令和６年度地区社協分科会等について 3.保土ケ谷ほっとなまちづくりについて 他 4.【情報交換】テーマ：「ほっとなまちづくり」では、どのような内容で話し合い協議していますか？	1.資料に基づき事務局より説明 2.資料に基づき事務局より説明 3.資料に基づき事務局より説明 4.全地区から状況報告および意見交換を行った
9月3日（火） 34名	1.ほっとなまちづくりフォーラム　第41回保土ケ谷区社会福祉大会について 2.令和６年度世帯賛助会費について 3.赤い羽根共同募金について　他 4.【意見交換】テーマ：皆さんの近所に居場所はありますか？ 動画「カンパニュラの夢」視聴	1.資料に基づき事務局より説明 2.資料に基づき事務局より説明と依頼 3.資料に基づき事務局より説明と依頼 4.グループに分かれ、テーマにそって意見交換を行った
11月21日(木) 38名	1.ほっとなまちづくりの振り返りについて 2.ほっとなまちづくりフォーラムについて 3.地区社協研修会について　他 4.【意見交換】テーマ：組織運営について「地域づくりに活かせる組織運営を学ぶ」	1.資料に基づき事務局より説明 2.資料に基づき事務局より説明と依頼 3.資料に基づき事務局より説明と依頼 4. テーマに沿って受講報告を頂き、意見交換を行った
3月6日（木） 38名	1.地区社協への助成金等について 2.令和７年度地区社協会長・事務局長合同会議について　他	1.資料に基づき事務局より説明 2. 資料に基づき事務局より説明

⑪ボランティアセンター運営委員会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
1月24日 （金） 10名	1.相談・コーディネート状況について 2.福祉教育実施状況について 3.善意銀行預託金の運営について 4.令和７年度ボランティアセンター事業について	1.活動状況報告 2.活動状況報告 3.案のとおり承認された 4.案のとおり承認された

⑫社協ほどがや編集委員会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
6月4日（火） 7名	1. 第51号の振り返りについて 2. 第52号の内容について	1.前号も含め過去の内容を振り返った 2.特集ページの内容について検討した

7月30日（火） 7名	1．第1回編集委員会の内容確認 2．社協ほどがや第52号の内容について	1.前号の検討内容を確認した 2.特集ページの内容検討を更に深めた

⑬企画委員会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
12月18日（水） 5名	1.会長・副会長の選任方法について 2.理事・評議員の選任、会員拡充について	1.資料に基づき意見交換を実施 2.資料に基づき意見交換を実施
2月25日（火） 6名	1.会長・副会長の選任方法について 2.理事・評議員の選任、会員拡充について	1.原案のとおり了承される 2.資料に基づき意見交換を実施

⑭社会福祉功績者表彰審査委員会

実施日 出席者数	主な議題	結　果
9月10日（火） 10名	1.社会福祉功績者表彰審査について	1.原案どおり承認された

（5）財政基盤の強化・寄付文化の醸成

① 世帯賛助会費

地域の福祉活動を支援するために自治会町内会に世帯賛助会費を募集し、区社協および地区社協活動費として活用した。

・実績額 11,462,350 円　※詳細別掲（P.26：別表１）

② 善意銀行預託金配分事業

寄付金品の預託を受け、ボランティアセンター運営委員会および事務局にて配分計画案を決定した。

※寄託・配分内容 別掲（P.27：別表２）

・寄付金品：預託金　¥21,253,000 円（22 件）、寄託品 3 件

・今年度配分

ふれあい助成金 500,000 円、生活支援事業 103,121 円、善意銀行事務費 11,865 円

・次年度配分計画

団体活動支援 500,000 円、生活困窮者支援 300,000 円、子育ち支援 300,000 円

会長の専決事項 100,000 円

③ 特定非営利活動法人の解散に伴う寄付受領

長年地域で活動を続けられた特定非営利活動法人の解散に伴い、法人の残金を地域福祉のためにという意向により善意銀行にて寄付金を受領。寄付金の詳細は別表 2 参照。

・寄付者：特定非営利活動法人　新桜ケ丘パートナー

（6）苦情解決・情報公開体制の充実	
	苦情受付担当や実務責任者を設置し、受付から解決までの体制を整えています。また、必要に応じた情報公開の体制も整えています。 申立件数　いずれも0件
（7）相談しやすい環境の整備	
	ご意見箱を設置し、寄せられた意見、要望、提案、苦情等に対して回答・対応できる体制を整えた。 ご意見箱受付件数：0件
（8）福祉関係５団体の事務局運営	
	福祉関係団体の事務局を運営し、連携の強化による地域福祉の推進に努めた。 ・神奈川県共同募金会保土ケ谷区支会 ・日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部保土ケ谷区地区委員会 ・保土ケ谷保護司会 ・保土ケ谷区更生保護女性会 ・保土ケ谷区遺族会

令和６年度　保土ケ谷区社会福祉協議会
世帯賛助会費実績・地区社協還元金額一覧表

R7.3.31現在

実績総額　　11,462,350 円

（単位：円）

No.	地区社協名	①世帯数 (R6.4.1現在)	②目安額 (@250×①)	③世帯賛助会費 実績額	④地区社協 還元金額	備考
1	保土ケ谷	3,207	801,750	520,553	313,000	
2	保土ケ谷南部	2,348	587,000	262,801	158,000	
3	保土ケ谷中	2,018	504,500	302,150	182,000	
4	保土ケ谷東部	7,598	1,899,500	1,241,579	745,000	
5	保土ケ谷西部	3,640	910,000	655,672	394,000	
6	新桜ケ丘	2,163	540,750	418,600	252,000	
7	権太坂境木	2,851	712,750	680,750	409,000	
8	岩井町原	1,593	398,250	225,520	136,000	
9	岩間	6,098	1,524,500	792,503	476,000	
10	中央	6,431	1,607,750	982,529	590,000	
11	中央東部	3,628	907,000	784,150	471,000	
12	和田・釜台	2,659	664,750	304,975	183,000	
13	上星川	2,549	637,250	381,225	229,000	
14	常盤台	2,599	649,750	509,610	306,000	
15	川島東部	2,740	685,000	476,018	286,000	
16	仏向	4,949	1,237,250	919,181	552,000	
17	川島原	2,438	609,500	280,020	169,000	
18	西谷	2,968	742,000	370,600	223,000	
19	上新	1,742	435,500	382,720	230,000	
20	笹山	980	245,000	79,815	48,000	
21	千丸台	1,000	250,000	206,987	125,000	
22	上菅田	3,363	840,750	684,392	411,000	
合計		69,562	17,390,500	11,462,350	6,888,000	

（１）地区社協還元金額

11,462,350 ≒　6,888,000　※各地区社協へは1,000円未満を切り上げて還元

（２）区社協活動費

11,462,350 ≒　4,574,350　※実績総額-地区社協還元金

善意銀行寄託金品内訳（別表２）

令和６年度　金銭寄付者一覧　22件　計21,253,000 円

No.	預託日	氏名・団体	個人・団体	金額	備考
1	2024年4月15日	匿名	個人	¥100,000	福祉一般のため
2	2024年5月30日	有限会社　板津農園	団体	¥100,000	福祉一般のため
3	2024年5月30日	西谷地区社会福祉協議会	団体	¥10,000	食支援のため
4	2024年6月10日	あじさい祭りチャリティ募金	団体	¥19,266	福祉一般のため
5	2024年8月11日	大日本プロレス・湘南プロレス	団体	¥30,000	福祉一般のため
6	2024年8月21日	田村　眞佐子	個人	¥100,000	福祉一般のため
7	2024年10月28日	仏向地区社会福祉協議会	団体	¥10,270	食支援のため
8	2024年11月1日	公益社団法人 神奈川県LPガス協会　横浜中央東支部	団体	¥30,000	福祉一般のため
9	2024年11月1日	一般社団法人　保土ケ谷青色申告会	団体	¥20,000	福祉一般のため
10	2024年11月19日	仏向地区社会福祉協議会	団体	¥500	福祉一般のため
11	2024年11月25日	匿名	団体	¥10,000	福祉一般のため
12	2024年12月6日	匿名	個人	¥10,000	福祉一般のため
13	2024年12月18日	匿名	個人	¥10,000	福祉一般のため
14	2024年12月23日	匿名	個人	¥100,000	福祉一般のため
15	2024年12月26日	匿名	個人	¥50,000	福祉一般のため
16	2025年1月8日	匿名	個人	¥10,000	福祉一般のため
17	2025年1月31日	公益社団法人　保土ケ谷法人会	団体	¥30,000	福祉一般のため
18	2025年2月3日	匿名	個人	¥1,000	福祉一般のため
19	2025年2月10日	匿名	個人	¥600,000	子どものため
20	2025年2月26日	平本　義則	個人	¥5,000	福祉一般のため
21	2025年3月12日	特定非営利活動法人 新桜ヶ丘パートナー	団体	¥20,000,000	福祉一般のため
22	2025年3月21日	ほどがや学び隊	団体	¥6,964	福祉一般のため

合計　　¥21,253,000

令和６年度　物品寄付者一覧　３件

No.	預託日	氏名・団体	個人・団体	物品名	配分先
1	2024年5月27日	一般社団法人 バンクフォースマイルズ	団体	コスメギフト、マスク	ささえあいフードドライブ （子どものいる世帯向け食支援）参加世帯
2	2024年11月25日	匿名	個人	商品券10,000円分	換金して寄付金として計上
12	2024年12月24日	グランヨーコー株式会社	団体	文具	今井地域ケアプラザ、仏向地域ケアプラザ、保土ケ谷地域ケアプラザ

保土ケ谷区ふれあい助成金助成団体および助成額内訳（別表3）

事業助成配分団体　　140件

¥10,658,000

Ⅰ　要援護者支援区分

1）集いの場

NO.	区分	団 体 名	交付額
1	A	特定非営利活動法人　かみすげた茶屋	¥400,000
2	A	動物愛護福祉支援協会（地域コミュニティカフェニャトワン）	¥400,000
3	A	ルネクラブ	¥200,000
4	A	千丸台地域交流ボランティアセンター	¥95,000
5	B	ほどがや無料塾	¥300,000
6	B	NPO法人　パオパオの木	¥120,000
7	B	子育てサロン「おもちゃばこ」	¥95,000
8	C	こどもの居場所　こどもの遊び場	¥99,000
9	D	チューリップ	¥80,000
10	D	サロン花きずな	¥50,000
11	D	健康長寿体操むつみ	¥97,000
12	D	ふれあい健康体操	¥80,000
13	D	東戸塚グリーンタウン体操教室	¥80,000
14	D	ハッピーくぬぎ台　体操教室	¥65,000
15	D	体操グループ“ハッピー”	¥95,000
16	D	いきいき体操サークル	¥40,000
17	D	おしゃべりサロン（みんなで歌おう会）	¥50,000
18	D	シニアサロンやまびこ	¥40,000
19	D	カラオケ愛好会	¥50,000
20	D	特定非営利活動法人　A.S.C.C	¥120,000
21	D	NPO法人　ちゃっと	¥120,000
22	D	ときわの森体操教室	¥45,000
23	D	G・スマイル	¥50,000
24	D	活き活きシニアの会（カフェグリーン）	¥50,000
25	D	ピッコロ	¥80,000
26	D	たすけあいグループ「ひだまり」	¥120,000
27	D	権太坂境木栄寿会	¥90,000
28	D	オレンジサロン	¥80,000
29	D	ときわ虹の会	¥120,000
30	D	明寿会	¥50,000
31	D	新桜ケ丘住宅住民支え合いグループ	¥80,000

32	E	おしゃべりのたまり場	¥80,000
33	E	人形劇団　はまなす	¥80,000
34	E	星の丘ビューシティ健康体操	¥80,000
35	E	コンフォール仏向町健康体操の会	¥47,000
36	E	先輩ママによる赤ちゃん教室　ふふ	¥10,000
37	E	子育てサロンたんぽぽ	¥50,000
38	E	デイ・ケアーすみれ	¥80,000
39	E	ふれあいルーム　にこちゃん広場	¥50,000
40	E	サロン・ふらっと109	¥80,000
41	E	子育てサロン　さくらんぼ	¥50,000
42	E	サロン　de　芙蓉ケ丘	¥80,000
43	E	みんなでキッチン	¥80,000
44	E	ほっとなサロン	¥80,000
45	E	ミュージック脳トレ　夢	¥80,000
46	E	ふれあいサロン上菅田	¥50,000
47	E	上菅田ふれあいランチ	¥50,000
48	E	星川3丁目サロン　はなみずき	¥50,000
49	E	よつ葉会	¥80,000
50	E	健康麻雀初音が丘	¥80,000
51	E	プレママ・プレパパ塾	¥80,000
52	E	ヒルズほっこり茶房	¥80,000
53	E	肉体美改造計画	¥80,000
54	E	ボランティア団体　星の輪	¥80,000
55	E	コープふれあいの会	¥80,000
56	E	わくわく食堂	¥40,000
57	E	笑話会	¥80,000
58	E	地域拠点　りあん	¥80,000
59	E	子育てサロン　おひさま	¥80,000
60	E	ユーアイ・グループ	¥80,000
61	E	和田・釜台地区ミニデイサービスの会	¥80,000
62	E	ふれあい型食事サービスボランティアの会	¥80,000
63	E	横浜友の会　ふたばぐみ	¥80,000
64	E	まぜごはん	¥50,000
65	E	子育てサロン　スマイル	¥80,000
66	E	ひまわりの会	¥80,000
67	E	特定非営利活動法人よこはま成年後見つばさ	¥80,000
68	E	おたのしみ会	¥80,000

69	E	仏向楽らくクラブ	¥60,000
70	E	木曜会	¥50,000
71	E	カンガルー	¥80,000
72	E	特定非営利活動法人　ピアわらべ	¥80,000
73	E	子育てサロン　ポテト	¥80,000
74	E	ボランティアグループ　茜会	¥50,000
75	E	峰岡町2丁目なかよし会	¥50,000
76	F	ネーブルカフェ	¥50,000
77	F	ゆうゆうサロン	¥50,000
78	F	富士見台小子育てサロン	¥50,000
79	F	学童保育　たけのこクラブ	¥40,000
80	F	新井小学校文化・スポーツクラブ学校開放部会	¥50,000
81	F	子育てサロン　シュークリーム	¥50,000
82	F	ほどがや保育ボランティアかるがもキッズ	¥50,000
83	F	マザーズリンクいわい	¥50,000
84	F	ボランティアグループ　ひまわり	¥50,000
85	F	保土ケ谷中地区社協　葵の会	¥50,000
86	F	一・二・三会	¥50,000
87	F	岩井町原　みんなの食堂	¥50,000
88	F	権太坂境木壮年クラブ	¥40,000
89	G（新規）	音読倶楽部	¥40,000
90	G（新規）	レアレアの会	¥40,000
		小計	¥7,208,000

2）家事・生活支援活動

91	A	地域ふれあい収集運営委員会	¥250,000
92	A	特定非営利活動法人　よこはまチャイルドライン	¥400,000
93	C	千丸台地区社会福祉協議会　在宅応急支援	¥95,000
94	D	明神台買物クラブ	¥80,000
95	E	仏向ＨＥＲＯＳ	¥50,000
96	E	ご近所隊かりば	¥50,000
		小計	¥925,000

3）配食活動

97	D	あじさいの会（保土ケ谷中地区配食グループ）	¥90,000
98	E	配食サービス部	¥80,000
99	E	中央地区配食ボランティア	¥80,000
100	E	新井町　お茶葉会	¥80,000
101	E	和田・釜台地区　配食サービス	¥80,000
		小計	¥410,000

4）送迎活動

102	B	仏向ふれあいワゴン	¥300,000
103	C	千丸台地区社会福祉協議会　外出支援	¥180,000
104	C	仏向地区社会福祉協議会　送迎支援サービス	¥100,000
105	C	ふれあい移動支援実行委員会	¥80,000
		小計	¥660,000

II 障害児者支援区分

1）障害児者支援活動

106	C	Miraise	¥120,000
107	D	Ｂホップダンス	¥80,000
108	G（新規）	親子ボッチャ楽	¥10,000
		小計	¥210,000

2）宿泊・日帰りハイク

109	A	NPO法人きてん　トラック	¥50,000
110	A	保土ヶ谷区視覚障害者福祉協会	¥50,000
111	A	NPO法人ふれんど45　サンハイツ狩場	¥50,000
		小計	¥150,000

3）視覚・聴覚障害者支援

112	A	さくらの会	¥50,000
113	A	手話サークル　もみじ会	¥50,000
114	A	保土ケ谷録音グループ　「はし」	¥50,000
115	A	保土ヶ谷区点訳サークル　「虹」	¥50,000
116	A	手話サークル　ほしの会	¥50,000
		小計	¥250,000

Ⅲ福祉のまちづくり区分

117	A	ほどがや　えかたり～べ	¥40,000
118	A	ほどがやおもちゃ再生館	¥40,000
119	A	楽遊園	¥40,000
120	A	ボランティアグループ趣味の会	¥40,000
121	A	こりす	¥40,000
122	A	傾聴ボランティアグループ「あのね」	¥30,000
123	A	保土ケ谷ファミールハイツ　災害時あんしんボランティア	¥40,000
124	A	ママ音楽ユニット♪ショコラッティ	¥40,000
125	A	ハロースタンプ	¥35,000
126	A	保土ケ谷区食生活等改善推進員会	¥40,000
127	A	リズム♪	¥40,000
128	A	きつつき仲間	¥40,000
129	A	サークル星の子	¥40,000
130	A	ちくちく	¥40,000
131	A	ブルーポケット	¥30,000
132	A	そこそこ手伝い隊	¥40,000
133	A	若葉会	¥40,000
134	A	ひまわり	¥40,000
135	A	おれんじ・ドンキー	¥30,000
136	A	桂歌助弟子の会（アマチュア）	¥40,000
137	B	NPO法人中途障害者地域活動センターほどがやカルガモの会	¥30,000
138	B	市精連かるがも杯　将棋・囲碁大会実行委員会	¥30,000
		小計	¥825,000

Ⅳ健康増進区分

139	A	ひまわり体操くらぶ	¥10,000
140	A	じょうしん健康ウォーキング	¥10,000
		小計	¥20,000